



井上校長の指揮で50周年記念歌を合唱

さらなる発展誓い合唱

西根中学校創立50周年記念式典

西根中学校(井上博幸校長、生徒322人)の創立50周年記念式典が2月7日、同校で行われました。在校生、来賓、保護者ら約500人が出席。生徒会長の大志田愛理さん(2年)が「50周年という節目に生徒でいられることを誇りに思う。これまでの輝かしい伝統を受け継ぎ、新たな創造をしていきたい」と、あいさつしました。その後、全校生徒が、ボディパーカッションや50周年記念歌「見えないものを」の合唱、応援を披露し、創立50周年を祝いました。

冬の八幡平で救助訓練

八幡平遭難対策委員会搜索救助隊厳冬期訓練

八幡平遭難対策委員会搜索救助隊の厳冬期遭難救助訓練が1月31日から2月1日までの2日間、八幡平で行われ、同隊員と警察官ら9人が参加しました。訓練は、冬山での遭難救助技術の向上、関係機関との連携強化を目的に実施。御在所登山口を出発し、陵雲荘で1泊、ビバーク訓練などを行い、御在所登山口に戻りました。同隊の高橋時夫隊長は「冬山の美しさを満喫するためにも、入山時は万全の準備をしてほしい」と、事前準備の大切さを呼び掛けました。



樹氷の中を歩む訓練参加者(写真:搜索救助隊提供)



市長の講演に真剣なまなざしで聴き入る生徒たち

未来を担う若者に助言

松尾中学校で市長が講演

「八幡平市の未来を担う君たちへ」をテーマにした市長講演会が2月4日、松尾中学校で行われ、同校生徒約140人が聴講しました。講演会で田村市長は、安代りんどうの輸出や外国での栽培に関して、ニュージーランドなどへ海外出張してきた経験から「英語を話せる力」の必要性を強調。佐々木理心さん(1年)は「市が世界に誇るリンドウを今後たくさんの人に広めてほしい」と、市への期待を寄せました。

特産品の料理を味わう

大地の恵みを楽しむ会

大地の恵みを楽しむ会が2月6日、松尾コミュニティセンターで開かれました。会には、市内外から約200人が参加。市の食材を使った料理や地酒がテーブルに所狭しと並べられたほか、いわて国体おもてなしメニュー「大地の恵み御膳」のメイン料理「ジャンボ椎茸メンチカツ」も提供されました。また、津軽三味線奏者の藤原翼さん＝紫波町＝の演奏が会場を盛り上げ、参加者は音楽を楽しみながら、市特産品の味を堪能しました。



市特産品を使った料理でテーブルがいっぱいに



隣の席の人と触れ合いながら体操で交流

福祉の心を高める場に

第8回市ボランティアの集い

第8回市ボランティアの集いが2月13日、市総合福祉センターで開催されました。集いには、市民や関係者ら約200人が参加。市赤十字奉仕団事務局から、宮古市の仮設住宅にリンドウを配布したことなどが報告されたほか、市防災対策専門員の瀬川正雄さんが、昨年の県総合防災訓練の様子や災害対応について講話を行いました。また、ふれあいランド岩手の職員を講師に、音楽に合わせた体操も行われ、参加者は交流を深めました。

笑顔崩さず耐久レース

スノー駅伝

スノー駅伝が2月21日、八幡平リゾートパノラマスキー場で行われ、幅広い年齢層で構成される県内外の17チームが参加しました。駅伝は、1周300mの起伏あるコースを、1チーム6人以下で1時間リレー。上り坂は走り、下り坂はソリで滑走するルールで、時間内の周回数を競い合いました。選手たちは、寒さと疲れで足が重くなる後半も、仲間や観客の声援を力に、終始笑顔で走り抜きました。



女性警察官の装いで参加する人も

すなっぷギャラリー



市防災会議で関係者らが防災計画について協議(2月26日、市役所多目的ホール棟大ホール)



第24回東日本バイアスロン選手権大会を開催(2月1日、田山バイアスロン競技場)



市高齢者スポーツ大会ユニカール競技では、一投一投に注目(2月17日、松尾コミュニティセンター)



西根地区芸能まつりで披露された平笠田植え踊り(2月1日、西根地区市民センター)



市の将来のまちづくりを議論する総合計画審議会を開催(2月3日、市役所多目的ホール棟大ホール)